

右から軍拵ある維新

日本維新の会は2日、

参院選に向けた公約として「政策提言 維新八策2022」を発表しました。軍事費のGDP（国内総生産）比2%への増額や自衛隊明記の改憲で「国民党と同一」の政策を掲げる一方で、「専守防衛」の原直し、「核共有」の議論の開始、中距離ミサイルの配備など、国民党を「右」からねじる政策を掲げています。「戦争をする国」への「突撃隊」としての維新の姿勢が鮮明で

参院選の公約発表

軍事費2%への増額 中距離ミサイル配備

四

「政策提言」は「新しい政治行政」「新しい外交安保」「新しい経済社会」「新しい国形」の4本柱です。

集団的自衛権行使の要件についてば、「存立危機事態」に代えて、「日本周辺で、現に日本を防衛中の同盟軍に武力攻撃が発生したため、わが国への武力攻撃の明白な危険がある事態」を「米軍等防護事態」として規定し、米軍と一体性を強調していく。

「故郷どつこトば、の条
くの日衛隊盟記のほか、
をめだし、「憲法審査会
での議論をつーど」する
としておおき。

「故郷どつこトば、の条
くの日衛隊盟記のほか、
をめだし、「憲法審査会
での議論をつーど」する
としておおき。